

《 冬空に映える
白い丘 》

ネモフィラのための掛け布団 霜除けシート設置が始まります

みはらしの丘では先週4日（金）にネモフィラの種まきが終わりました。早くもあちらこちらで芽が出始め、来週14日（月）頃からは、ネモフィラの株を冬の寒さから守る「霜除けシート」の設置が始まります。種をまき終えた丘の茶色い斜面が真っ白いシートで覆われていく風景は、当公園の冬の風物詩。年内には設置が完了し、青く抜けるような冬空と白い丘の美しいコントラストをご覧ください。



「霜除けシート」設置の様子（2018年12月19日撮影）

◆みはらしの丘の冬支度

ネモフィラの「霜除けシート」の設置は、約4.2haのみはらしの丘を10日～2週間ほどかけて行います。延べ150人ほどの手作業で、隣り合うシートを少しずつ重ねてピンで固定し、丘全体を隙間なく覆っていきます。使用するシートは帯状の白い不織布（約2m幅）で保温効果があり、寒さによる株の傷みを防ぎます。春に一面がきれいに咲き揃うように、現在の生育状況や、斜面ごとの日当たり、長年の経験などをもとに今後の生育を予想し、計画的にシートを掛けていきます。

<ネモフィラ>

場所：みはらしの丘 植栽面積：約4.2ha 見頃時期：4月中旬～5月上旬 本数：約530万本



霜除けシートに覆われた「みはらしの丘」
（2019年1月8日撮影）

◆冬ならではの特別な風景

まるで冬のゲレンデのような、霜除けシートに覆われたみはらしの丘。お天気の良い日には日差しを受けて、白銀に輝きます。また、ひたちなか市の最高地点でもある、みはらしの丘の頂上（標高58m）からは、冬の澄んだ空気の中で360度のパノラマが楽しめ、筑波山や那須連山など遠くに連なる山々や、雄大な太平洋を眺めることができます。

◆冬を乗り越え、春を待ちます

霜除けシートは、例年2月頃より撤去を始めます。設置時同様に生育状況や天候の見通しを考慮して、シートを外していきます。シートの下から、すくすくと成長したネモフィラが現れたら、春はもうすぐそこです。



シートの下から若々しい緑色が現れます
（2020年2月2日撮影）

Information
大観覧車前では「干支の巨大地上絵」の制作がスタートしました。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>